

アベノミクスと日本経済復活の経済政策

起業家塾 4 月例会（4 月 15 日（月））は、
株式会社 三橋貴明事務所 代表取締役社長 三橋貴明 氏をお招きして、開催いたしました。



講師略歴：三橋 貴明 氏 ㈱三橋貴明事務所 代表取締役社長

東京都立大学（現：首都大学東京）経済学部卒業。外資系 IT 企業、NEC、日本 IBM などを経て 2008 年に中小企業診断士として独立、三橋貴明事務所を設立。
2007 年、インターネット上の公表データから韓国経済の実態を分析し、内容をまとめた『ホントはヤバい！韓国経済』（彩図社）がベストセラーとなる。その後も意欲的に新著を発表。
三橋貴明氏のブログ「新世紀のビッグブラザーへ」の一日のアクセスユーザー数は 12 万人を超え、推定ユーザー数は 36 万人に達している。2013 年 3 月現在、人気ブログランキングの「政治部門」1 位、総合ランキング 1 位（参加ブログ総数は約 98 万件）である。
単行本執筆と同時に、雑誌への連載・寄稿、各種メディアへの出演、全国各地での公演などにご活躍されている。

1. 2013 年 1 月主要国の失業率

失業率は 7% を超えるとキツイ。日本は 4.2%。アメリカは 7.9%。ドイツは減少傾向にあり 5.3%。ギリシャは 27%、スペインは 26.2% で生産人口の 4 人に 1 人は失業している。伊勢神宮の式年遷宮は 20 年毎に行われるがその技術は「弥生時代」から受け継がれている。技術を継承・保持することが国家維持には重要。アベノミクスは、世界で通じる雇用問題解決の「パッケージ」である。

2. 日本のフィリップス曲線

縦軸に失業率、横軸にインフレ率でグラフ化。右肩下がりの曲線を描く。日本はデフレになると失業率が高まる。完全雇用を達成するには日本はインフレ率 2% が必要。

3. 所得生成のプロセス

デフレの問題は「雇用・所得の問題」。「日本国内外で使われているお金は 1 つの例外を除いて『所得』である。1 つの例外は『政府・中央銀行が発行するお金』。今の日本の問題は「所得が足りないこと」。売れないから値引きを行うと生産者の所得も減る。この連鎖が「デフレーション」。バブル崩壊を経験する国が政策を間違えるとデフレになる。バブル崩壊は「銀行から借りたお金（信用取引）で投機することで発生する。」

4. GDP こそが全ての源泉

「GDP = 消費・投資の合計 = 生産の合計 = 所得の合計」である。日本は約 20 年間 GDP が変わらない。



5. 日本と日米英独の長期金利（長期）

日本のバブル崩壊後、7%だった国債の長期金利が下がり続けた。

アメリカ、イギリス、ドイツも長期金利が下がり続けている。理由はバブル崩壊。かつて日本も含めたこの4カ国の国債が下がり続けたことがある。これが「世界恐慌」。この時日本は「高橋是清」が解決した。

6. 名目 GDP と政府の税収（単位：十億円）

所得が減っているから政府の税収も減っている。GDP と政府の税収は相関関係が強い。税収が減った時に政府は「赤字国債を発行する」。赤字国債は税収が減ると発行される。建設国債は公共投資。

7. 最後に

あらゆる政策は「タイミング（時期）」である。構造改革は“今の”日本には合わない。アベノミクスは“今の”日本にはあった政策なのだ。

以上

【起業家塾 5 月例会案内】

内 容：「身近な著作権 - ビジネス上の留意点と著作権保護に必要なこと -」

講 師：川合 義彰 氏 株式会社マークアイ 代表取締役社長、起業家塾会員

日 時：平成 25 年 5 月 20 日（月） 18：00～20：45

場 所：群馬ロイヤルホテル 2 階 まゆだま

「日本のブランドを育てたい、そして守りたい」をミッションとし、ブランド作成、商標権・著作権の登録、模倣品対策支援を中心としたサービス提供をする㈱マークアイの代表。グローバル展開企業を中心に、1,700社を支援している。

